

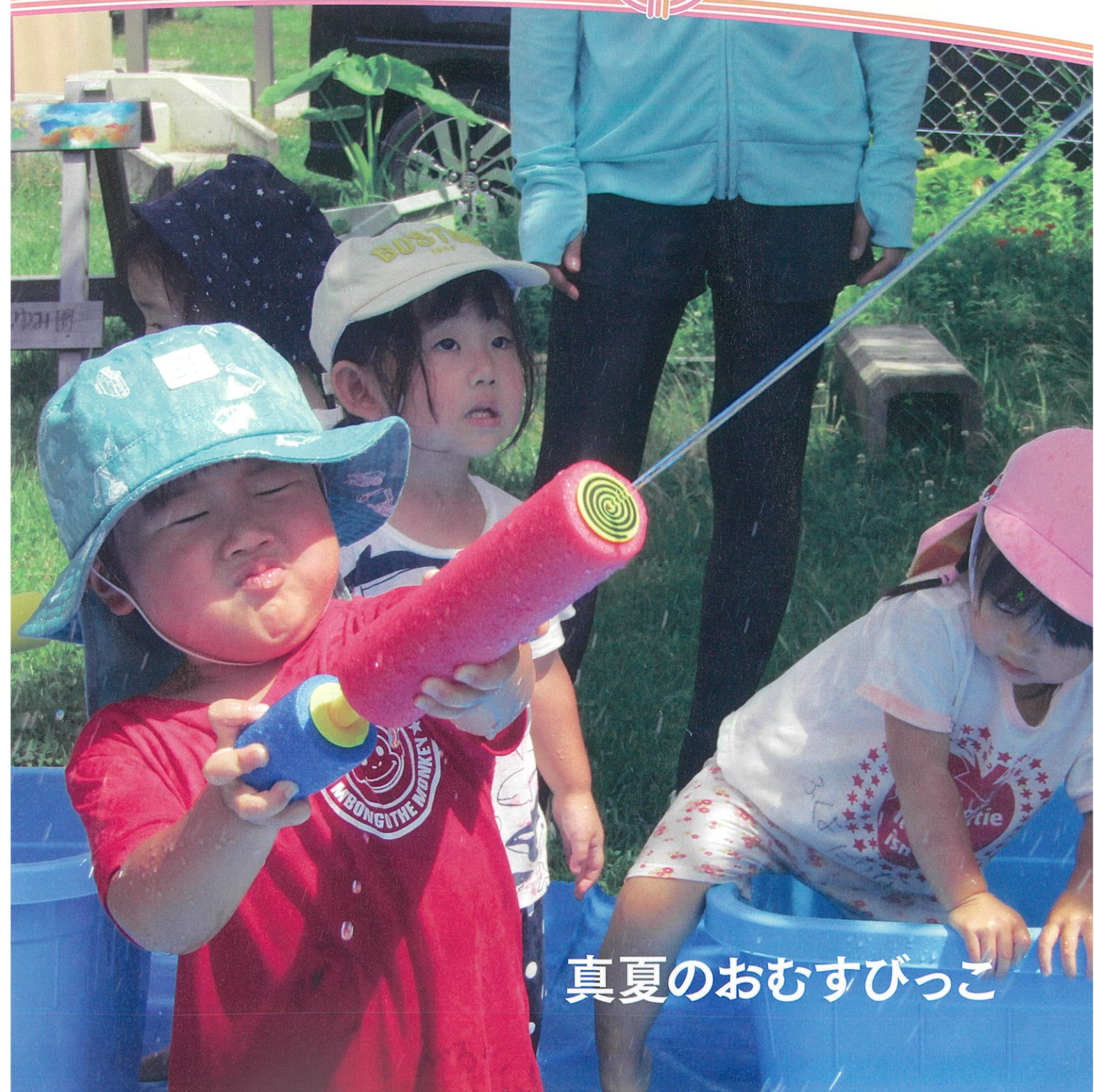
ゆいだより



社会福祉法人
ゆいの里

社会福祉法人 ゆいの里 広報誌

2024.08.30



真夏のおむすびっこ

● 表紙によせて

川路おむすび保育園が開設してから3年が過ぎました。この間保護者の皆様をはじめ、地域の方々は大変温かいご協力をいただき、大きなけがや事故等なく、子どもたちが元気に過ごせています。ありがとうございます。

川路おむすび保育園の開所の年から毎日発行している園だより“おむすびころりん”。日々の遊びや生活の様子、私たちの保育の中での思いを書き綴り、家庭にお伝えしている園だよりです。写真を添えながら、活字ではなく手書きにこだわり書いています。乱文乱筆の恥ずかしさがありますが、温かいお便りになり、目を通してもらいたいという思いでペンを走らせています。

毎年1年分をまとめて冊子にし、園児の家庭に配布

しています。昨年度分までで3冊になりました。ページをめくりながら1年を振り返ると、楽しかった日々が蘇り、子ども達の成長を感じることができるのです。

保護者の方からも、「こんなに素敵なものをいただけるんですか？嬉しいです！」という言葉をいただきました。

子ども達とおむすびの歴史がぎっしり詰まった(唯一？誇れる)宝物です。ご覧になりたい方は、ぜひ川路おむすび保育園にいらしてください。お待ちしております。

川路おむすび保育園 園長 樽沢和子



■ 竜峡中学校 福祉体験学習

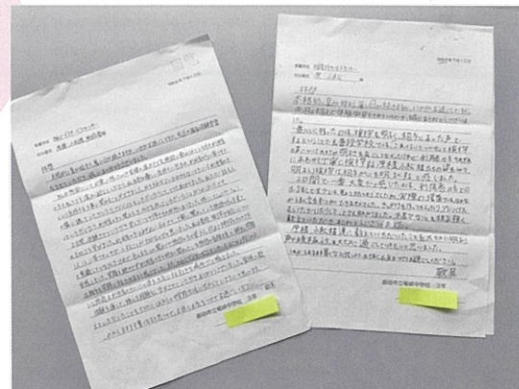
飯田・下伊那地域では、中学3年生が授業の一環として様々な福祉施設に福祉体験学習に行くことになっています。今年度、法人内では2校から計11名の生徒さんの受け入れを行いました。普段の職員以外の若い学生さんが来てくれると、利用者さんも元気をもらえて、会話が笑顔が多くなります。

かわじデイサービスセンターでは、7月3、4日の2日間にわたり、竜峡中学校の3年生2名の生徒さんが福祉体験学習に来てくださいました。

1日目は緊張が目立った生徒さん達でしたが、2日目は積極的に利用者さんとお話をしたり、クラフト作業をしたりすることができました。こういった体験を学生のうちにしておくことで、福祉について知り、今後の様々な選択に活かせることかと思えます。

1週間後には丁寧なお礼文を届けてくださいました。ありがとうございました。またいつでもいらしてください。

かわじデイサービスセンター 所長 原 耕平



■ 飯田短大授業サポーター

6月16日、飯田短期大学 生活科学学科介護福祉専攻2年生の授業サポーターとして講義に出向きました。講義内容は特養での取り組みや多職種との連携について。また、地域とのつながりなどを1時間半お話ししました。授業サポーターとしては3年間続けて声をかけていただいています。令和5年度から飯田短期大学は共学となり、教室にも男子生徒の姿も見られこれまでの雰囲気とはひと味違う活気を感じてきました。学校の授業をはじめ実習など学びを積み重ねている生徒さんに少しでも介護の魅力を発信出来たらとの思いで、たくさんの写真やエピソードなど時間いっぱいにお話をさせていただきました。特養で働く様々な職種に興味を持たれ質問も活発にいただきました。高齢者そして地域、社会の大切な担い手としてこれからも全力で応援していきたいと思えます。

特養ゆい 施設長 池田克文



■ 川路小金管バンド 野外コンサートを堪能

川路小学校よりご招待いただき、6月25日に金管バンドの野外コンサートの鑑賞に出掛けました。ハートビルからは8名の入居者様が参加されました。コンサートでは2曲の演奏を聴くことができ、「とても良かった。綺麗だったね」、「小さい体で頑張っていて感心した。私も頑張らなくちゃね」、「うちの息子も昔楽器をやっていたね…」などと話も弾み、皆さんそれぞれに子どもたちの演奏を満喫しました。ここ数年は新型コロナの影響により地域との交流が少なかった分、これからは少しでも地域との繋がりがや交流など、コミュニケーションをとれる場が増えればいいなと感じました。そして入居者様にとっての生きがいや、楽しいと感じていただける場をこれからも作っていけるように頑張っていきたいと思えます。

ハートビル川路 柏木涼太



■ 龍江小学校音楽会を鑑賞してきました

7月5日に龍江小学校の音楽会があり、利用者様8名と実習生2名、職員4名が観に行きました。小学校に着くと校長先生や先生たちが出迎えて下さり、利用者様ひとりひとりに音楽会のプログラムを渡して下さいました。当日は猛暑で外は30℃を超える中でしたが、持参した団扇を扇ぎながら音楽会を観ました。利用者様の中には、「私の子供もよ一歌ったなあ」と昔の懐かしさを思い出しながら聞いている方もいました。

コロナ禍でなかなか外出が出来なかったため、

■ 平和行進・壮行会

6月29日に今年の世界大会に向けて飯伊地区平和行進が行われました。ゆいの里からは世界大会参加者を含め4名が参加し、飯田市役所～上郷支所の行進を行いました。上郷支所では、世界大会参加者が大会参加に向けた抱負を述べました。

また、7月29日には法人職員会議のなかで壮行会を行いました。職員で協力して作成した千羽鶴と職員からのカンパを参加者に託すとともに激励を行いました。

ハートビル川路 柏木涼太

■ 原水禁世界大会に参加して…

原水爆禁止世界大会広島大会では平和への願い、そして二度と同じ事を繰り返さないために、核廃絶への強い思いを感じ取ることが出来ました。

被爆国である日本が核兵器禁止条約に入らない。世界から見ると日本は異質であり、アメリカの顔色を伺っているように思えました。日本政府の対応は多くの矛盾があり、是正するために訴えかけること、行動することの大切さを痛感しました。



広島・長崎の教訓を忘れずに、次世代のために何ができるか、今回得た事を周りに伝え、核廃絶へ向けて行動することが大切だと感じました。

特養ゆい 代田昌広



行く前から楽しみにしている利用者様もいました。今後は施設外での行事に、より多くの利用者様が参加出来るように、また笑顔で過ごして頂けるようにしていきたいです。

特養ゆい 林 弘樹

特養ゆい 納涼祭

7月31日、毎年恒例の納涼祭を行いました。行事委員会の職員を中心に法被を身に着け、各フロアでお祭りを開催しました。お神輿から始まり、入居者様と職員が「わっしょいわっしょい!」と掛け声をかけたり笑顔で見守ったりうちわであおいだり…皆さんそれぞれのスタイルで盛り上がりました。昼食は、焼きそばやフランクフルト、茄子とトマトの和え物やスイカなど、盛り付けにも工夫を凝らして提供しました。「綺麗だねえ」、「美味しそう!」と喜ばれました。午後には、各フロアでかき氷、綿あめ、射的、ヨーヨー釣りを開催しました。かき氷が人気で5杯食べる入居者様、射的、ヨーヨー釣りの屋台に「昔行ったな」、「子どもの頃に帰った気分」と皆さんの

笑顔を見ることが出来ました。日々の生活をより充実した時間となることを心掛け、納涼祭のように笑顔を引き出せられるように利用者様に寄り添っていきたく思います。

特養ゆい 宮毛智紀



ハートヒル川路 納涼祭

8月2日にハートヒル川路納涼祭を行いました。感染症対策で今年も施設内イベントとしましたが、できる限り楽しんでもらえるよう計画を立てました。

お昼はお祭りメニューを提供し、焼き鳥は職員で焼き、ハートヒルで育てたスイカをデザートに提供するなど夏を感じながら楽しみました。午後は川路保育園、おむすび保育園さんを招待し、子どもたちの歌や踊りを鑑賞しました。子どもたちの元気いっぴいの姿から皆さん元気をいただくことができました。

ゲームとして輪投げを用意し、皆さん真剣な表情で投げ入れていました。参加賞としてお菓子和水風船をプレゼントしました。夜は花火大会を開催し、恒例のナイアガラも綺麗に行うことができました。来年は地域の皆様と行えることを楽しみにしています。

納涼祭実行委員長 市瀬八代子



ジャンボリー活動を通しての菓子販売の支援、青年から一番要望の多い飲み会や食事会等を計画しています。これからも青年が楽しく、やりがいを持って、積極的に仕事や活動ができるよう支援していきます。

青年委員会 委員長 代田昌広

ゆいの里 研修委員会の取り組み

ゆいの里では年間を通してゆいの里独自の職員研修の機会を設けています。その企画・運営を行っているのが研修委員会です。ここでは研修の内容をいくつかご紹介します。

● 新人研修

新人研修は毎年新卒、経験者(中途入職を含む)を含む新入職員を対象に、年度初め(前半)、中間期(後半)の4日間の日程で研修を行っています。ゆいの里の理念の実践を目的に、福祉施設で働くための基本的な知識を学ぶ場と位置付けています。初めて福祉の社会に飛び込む方、知識を持って来られる方、多様な受講者に沿った内容に

なるよう努力しています。また、13科目の講師は職員が担い、スキルアップの場としても活用されています。

● 他部署研修

入職3年目の職員を対象に行っている研修です。自身の職場以外の部署へ1日研修に行き学びを深めます。介護現場で働く人が保育園や厨房、障害など普段と違う経験ができる場所を選ぶこともできるため人気のある研修の一つです。

他にも年間を通して様々な研修があります。今後もこうした研修を通し広い視野を持った専門職としてスキルアップしながら、職員同士で学び合える機会を提供していきたいと思えます。

研修委員会 委員長 久保田朱美

新入職員 紹介



遠山 みのり

特養ゆい 厨房
調理



梶田 里奈

特養ゆい 厨房
調理



吉川 俊史

特養ゆい 厨房
調理



松村 翔未

介護相談センター
ゆい
介護支援専門員



菅沼 靖夫

かわじ
デイサービスセンター
送迎



池田 めぐみ

かわじ
デイサービスセンター
介護



柿本 遥香

ハートヒル川路
介護



小倉 ひろみ

ハートヒル川路
看護



五十川 成子

ハートヒル川路
食事介助

各施設の様子をご紹介

デイサービスセンターおよりて



大きなケーキですね



みんなでお花見



慎重に移します



ミュージックショーで大爆笑



大きなカブが抜けました

ハートヒル川路



池掃除



ウイラ緑風園さんとの交流会



みんなで書いた短冊
叶うといいね



ゴルフショット!



皆でスイカを食べました

かわじデイサービスセンター

バランスカに思わず拍手♡



ゆっくりと時間が流れています



男子の集まり



きれいだな



フライドポテト揚げのぞ!



行司が驚く棒相撲

障がい者支援センター 七和の里



6月の誕生日会に
フルーチェパフェ作り♪



久しぶりの事業所合同の誕生日会!



かなえの里で避難訓練!



6月の涼しい内にかなえの公園散策!



余暇の縁日にて。狙うはあのお菓子!



お話し大好き



誕生日おめでとうございます!



夫婦でいつまでも幸せに

特養ゆい1階



風船バレーで体を動かそう



誰が一番キレイに塗れるかな

特養ゆい2階



母の日にお花をもらったよ



今日も元気いっぱいだよ



皆でお花見

川路おむすび保育園



ボールプール大好き



あっ!足跡ついた!



保湿、冷却効果抜群!!



傘お化け、やっつけよう!



介護報酬改定から見えるもの

この4月に令和6年度介護報酬改定が行われました。今回の改定では5つのテーマをもとに各分野で改定が進められています。その一つとして、「地域包括ケアシステムの深化・推進」の中で認知症対応力の向上が謳われています。

背景として、認知症の方が2025年には全国で700万人(5人に1人)に達するとされています。こういった状況もあり、令和6年1月1日に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」(以下認知症基本法)が施行されました。認知症はもはや他人ごとではない問題となり、国や自治体、社会全体として理解や対応力が求められています。

認知症基本法では「認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすことができるよう、認知症を総合的かつ計画的に推進」することを目的としています。認知症になっても住み慣れた地域でその人らしく暮らせるよう、具体的な取り組みが進められています。

今回の介護報酬改定でも、この背景を踏まえ、介護事業所にも認知症に対する理解や対応をさらに強化することが求められています。具体的には、新たに認知症ケアに対する取り組みや体制を評価する加算が創設されました。また、前回改定からの猶予期間が設けられ

ていた「介護に直接携わる職員のうち医療・福祉関係の資格を有さない者について認知症介護基礎研修の受講」が義務化されるなど改定が進んでいます。

こうした動きに伴い、私たちも認知症対応をさらに強化し、日々のケアから学びを共有する事例検討会や研修会、学習会などの取り組みを進めています。これらの取り組みに終わりはなく、常に知識や経験をアップデートすることが大切だと考えています。

現在、超高齢社会を迎えている中で、認知症は避けて通れない問題です。認知症になってもその人らしく暮らすためには、社会全体での理解と対応が必要不可欠です。認知症に優しい地域になっていくことが課題解決の糸口の一つかもしれません。

私たち介護事業所は専門的に認知症ケアを行っている者として、更なる質の向上を目指すとともに、地域の一員として地域を巻き込んだ学びや共有も必要だと考えています。これからも、ゆいの里の理念である「すべての人がその人らしく大切にされる居場所づくり」を目指して取り組みを続けていきたいと思っています。

特別養護老人ホームゆい
事務長 牧内 真

養護老人ホームの現状と課題

ハートヒル川路は、令和5年度の入居率は95.8%。長野県は全国的にみて比較的措置率の高い県との統計もあります。また、契約入所の実施はしているものの、措置から契約への変更を求められることは現在のところありません。

令和2年から中核市の飯田市と行い始めた年度初め(6月頃)の自治体との懇談は、令和6年度には飯田市を含めて周辺自治体10市町村を訪問し、当施設の運営・経営状況や課題、必要に応じて契約入所など新しい取り組みなどを報告させていただいています。また、自治体の方での困りごとや自治体の抱えている地域の状況などをお聞きしながら措置を積極的に行っていただけるように要望を行っています。その中で、自治体職員は入れ替わりも多く、入れ替わるたびに措置施設養護老人ホームとは何?というようなことの説明を行いながら養護の理解を深めてもらっています。措置後に放置、費用だけの関係にならないように年1回は施設を訪問してもらい担当措置入所者への面談の実施も行っていただけるように依頼をしています。

措置対象者の無い自治体では、担当者が変わっていると尚更何も知らないような状況も感じられます。ハートヒルの運営・経営を知ってもらい、それによって、

養護の役割や有用性を広めていくしかない取り組んでいます。

現在、当施設の相談員が対応に苦慮していることが、身元引受人がいない入居者の増加と入居者の債務処理です。身元保証会社の利用増加、弁護士への相談・対応など多様化する問題に対して今まで以上に幅広く専門性を発揮したソーシャルワークを行っていくことが必然的に求められています。

私たちは、これまでの「措置控え」の問題と同様に「措置剥がし」についても大きな課題として状況の把握を進め、公的責任を放棄するような国や自治体の姿勢・対応には改善を求め続けていかなければならないと思います。

今後も、一層多様化した生活課題を抱える高齢者へ対応するためのセーフティーネットである措置施設の養護老人ホームはますます必要とされる施設であり、措置控えなどの問題により事業閉鎖などがあってはならないと考えています。

ハートヒル川路
事務長 川越大輔

第29回 ゆいの会総会を開催しました

5月19日にゆいの会の定期総会と健康促進学習会を開催しました。龍江公民館で行った総会には多くの会員が参加されました。今年度は活動の活発化を目指し、具体化委員会を設置し、アイデアを迅速に具体化する体制を整えます。総会後の健康促進学習会には地域の方も多く参加しました。

第1部では飯田短大の安富和子先生による「オーラルフレイル予防教室」が行われ、口の中の健康が全身に及ぼす影響を学びました。



第2部では宮下泰広先生による「一生涯笑害無し」というテーマでの講演があり、笑いとお腹を鍛えることの大切さを体験しました。参加者からは「今日来てよかった」「笑って元気になった」などの感想が寄せられました。今回は総会と学習会を併せることで、地域の方と会員さんと一緒に健康について楽しく学べる機会となりました。ご協力ありがとうございました。

ゆいの会 牧内真

オレンジカフェ スタッフ募集

毎月第2・4土曜日(9:30~12:00)に開催中のオレンジカフェ。地域のみなさんと一緒に外出したり身体を動かしたり、歌ったりと楽しんでいます。オレンジカフェではスタッフを募集しています。参加者と一緒に楽しみましょう。

●お問合せは ゆいの会事務局 Tel.0265-27-4600 担当:牧内まで

ゆいの会 2024年度 会費納入をお願いします

ゆいの会は社会福祉法人ゆいの里を支える団体です。皆様のご協力によりまして事業計画に基づき様々な活動を行っております。今後とも、様々な形でのご協力をよろしくお願いいたします。

会費の納入方法

- 「ゆいの里事務所」やお近くの「ゆいの里関係者」にお気軽にご連絡ください。お電話いただければ受け取りに伺います。
- 信金振込の場合
同封の信金振込用紙をご利用ください。
※振込の場合手数料がかかりますがご了承ください。
- JA振込の場合
JA窓口にて振込用紙に下記のように記入をしてお振込みください。
【振込先】みなみ信州農協 下久堅支所
普通6249566 ゆいの会

会員の皆様にお変わりがございましたら、最寄りの事業所・ゆいの会事務局までご連絡ください。

【お問い合わせ】 Tel.0265-27-4600 Fax.0265-27-4606

年会費
1,000円

法人単位資金収支計算書 自 令和5年4月1日/至 令和6年3月31日

勘定科目	決算(B)
収入	
介護保険事業収入	601,932,989
老人福祉事業収入	208,856,335
保育事業収入	30,079,354
就労支援事業収入	3,126,732
障害福祉サービス等事業収入	43,222,792
経常経費寄附金収入	1,829,605
受取利息配当金収入	2,842
その他の収入	12,237,612
事業活動収入計(1)	901,288,261
支出	
人件費支出	612,551,195
事業費支出	157,716,057
事務費支出	82,503,899
就労支援事業支出	3,026,338
支払利息支出	481,667
その他の支出	11,407,111
事業活動支出計(2)	867,686,267
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	33,601,994
施設整備等による収入	
施設整備等補助金収入	834,000
設備資金借入金収入	19,400,000
施設整備等収入計(4)	20,234,000
支出	
設備資金借入金元金償還支出	7,701,600
固定資産取得支出	24,208,309
ファイナンス・リース債務の返済支出	2,696,400
施設整備等支出計(5)	34,606,309
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-14,372,309
その他の活動による収入	
収入	
事業区分間繰入金収入	0
拠点区分間繰入金収入	0
その他の活動収入計(7)	0
支出	
事業区分間繰入金支出	0
拠点区分間繰入金支出	0
その他の活動による支出	1,344,380
その他の活動支出計(8)	1,344,380
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-1,344,380
予備費支出(10)	-
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	17,885,305
前期末支払資金残高(12)	340,524,793
当期末支払資金残高(11)+(12)	358,410,098

法人単位事業活動計算書 自 令和5年4月1日/至 令和6年3月31日

勘定科目	当年度決算(A)
収益	
介護保険事業収益	601,932,989
老人福祉事業収益	208,856,335
保育事業収益	30,079,354
就労支援事業収益	3,126,732
障害福祉サービス等事業収益	43,222,792
経常経費寄附金収益	1,829,605
サービス活動収益計(1)	889,047,807
費用	
人件費	612,192,969
事業費	157,716,057
事務費	82,503,899
就労支援事業費用	3,026,338
減価償却費	29,583,179
国庫補助金等特別積立金取崩額	-10,195,464
サービス活動費用計(2)	874,826,978
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	14,220,829
収益	
受取利息配当金収益	2,842
その他のサービス活動外収益	12,237,612
サービス活動外収益計(4)	12,240,454
費用	
支払利息	481,667
その他のサービス活動外費用	11,407,111
サービス活動外費用計(5)	11,888,778
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	351,676
経常増減差額(7)=(3)+(6)	14,572,505
特別増減の部	
収益	
施設整備等補助金収益	834,000
特別収益計(8)	834,000
費用	
固定資産売却損・処分損	0
国庫補助金等特別積立金積立額	834,000
特別費用計(9)	834,000
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	14,572,505
前期繰越活動増減差額(12)	210,320,068
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	224,892,573
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	0
その他の積立金積立額(16)	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	224,892,573

2023年度 社会福祉法人ゆいの里 決算報告

法人単位貸借対照表

令和6年3月31日現在

資産の部	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	流動資産	382,811,619	357,120,144	25,691,475
	現金預金	290,912,982	255,532,807	35,380,175
	事業未収金	91,783,910	93,370,106	-1,586,196
	未収補助金	113,000	8,174,000	-8,061,000
	立替金	1,727	43,231	-41,504
	固定資産	324,990,812	330,365,682	-5,374,870
	基本財産	191,739,676	203,849,065	-12,109,389
	建物	191,739,676	203,849,065	-12,109,389
	その他の固定資産	133,251,136	126,516,617	6,734,519
	建物	80,417,037	79,213,711	1,203,326
	構築物	189,802	420,947	-231,145
機械及び装置	9,975,004	11,769,109	-1,794,105	
器具及び備品	22,574,120	11,119,945	11,454,175	
有形リース資産	5,549,125	7,076,682	-1,527,557	
権利	39,000	106,000	-67,000	
ソフトウェア	4,507,048	6,810,223	-2,303,175	
財政調整積立資産	10,000,000	10,000,000	0	
資産の部合計	707,802,431	687,485,826	20,316,605	

負債の部	科目	当年度末	前年度末	増減
流動負債	流動負債	65,781,377	57,891,113	7,890,264
	事業未払金	24,401,521	16,595,351	7,806,170
	1年以内返済予定設備資金借入金	7,863,600	5,919,600	1,944,000
	1年以内返済予定リース債務	1,865,000	2,696,400	-831,400
	1年以内支払予定長期未払金	674,100	1,344,380	-670,280
	賞与引当金	30,977,156	31,335,382	-358,226
	固定負債	45,153,716	37,938,416	7,215,300
	設備資金借入金	40,269,716	30,515,316	9,754,400
	リース債務	4,884,000	6,749,000	-1,865,000
	長期未払金	0	674,100	-674,100
	負債の部合計	110,935,093	95,829,529	15,105,564

純資産の部	科目	当年度末	前年度末	増減
純資産	純資産	200,884,612	200,884,612	0
	基本金	200,884,612	200,884,612	0
	国庫補助金等特別積立金	161,090,153	170,451,617	-9,361,464
	その他の積立金	10,000,000	10,000,000	0
	財政調整積立金	10,000,000	10,000,000	0
	次期繰越活動増減差額	224,892,573	210,320,068	14,572,505
	(うち当期活動増減差額)	14,572,505	25,742,260	-11,169,755
	純資産の部合計	596,867,338	591,656,297	5,211,041
	負債及び純資産の部合計	707,802,431	687,485,826	20,316,605

2023年度決算では、法人全体の当期活動増減差額は14,573千円となりました。収益面においては、収益予算比100.9%、前年比103.5%となっておりますが、補助金を除いた収益は予算比マイナスとなります。収益面においてかなり厳しい年度であったといえます。2023年度末時点の月商倍率は4.02倍、経常増減差額は1.6%、キャッシュは対期首35,380千円。財務状況は比較的安定しているといえます。また、2023年4月からは飯田市かわじ地域包括支援センターの受託運営がスタートしました。飯田市社会福祉協議会から引き継いだ運営基盤を軸に、個々のこれまでの経験や知識、技能、関係性、そしてチームワークにより運営面においても経営面においても安定した事業運営がなされています。

私たち社会福祉法人を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。とりわけ新型コロナの拡大や長期化する物価高騰、人材確保難等の影響を経て、介護事業経営は全国的にかつてなく悪化しています。ゆいの里としては、こうした厳しい状況にあっても高齢、障害、子ども・子育てといった種別を超え、横断的、包括的な福祉サービスの提供など、各分野の施策・制度の動向を注視し、地域動向を的確に捉えながら事業の多角化・多機能化等の方策を継続して検討していきたいと思っております。今後もゆいの里が地域福祉の拠点として機能できるよう引き続き法人理念を軸に据え、地域に根差した事業運営に邁進してまいります。

専務理事 篠田淳治

令和6年度 永年勤続表彰受彰者

20年



秦 隆浩

ハートヒル川路
介護



羽生 幸子

特養ゆい 2階
介護



後藤 俊美

介護相談センターゆい
介護支援専門員



平沢 剛

飯田市かわじ地域包括
支援センター
介護支援専門員

10年



市川 森作

七和の里
支援員



遠山 リピン

ハートヒル川路
調理

寄附・寄贈者

ご協力ありがとうございました。

- 清水寛子さん
- 川路まちづくり委員会
- 長沼好子さん
- 新井やゑさん
- 龍江一区公民館

令和6年度

ボランティア受け入れ状況

- 松下知子さん(布切り)
- 川手政子さん(裁縫など)
- JP労組下伊那支部(施設周辺の草刈り)
- 森の仲間たち
- 龍江日赤奉仕団の皆さん

ゆいのかぜ

社会福祉法人ゆいの里は法人設立から25年目を迎えました。この間、少しずつ変化を遂げながら発行を続けてきた法人の広報誌「ゆいだより」は、この度デザインを一新し、フルカラーでのお披露目となります。今後も分かりやすく、様々な情報を発信してまいります。

次号は2024年12月未予定です。(篠田)

- 特別養護老人ホーム ゆい/デイサービスセンター およて
〒399-2221 飯田市龍江7159-1
Tel 0265-27-4600 Fax 0265-27-4606
- 居宅介護支援事業所 介護相談センターゆい
〒399-2221 飯田市龍江3283-1
Tel 0265-27-2929 Fax 0265-27-4607
- 養護老人ホーム ハートヒル川路
〒399-2431 飯田市川路3457-1
Tel 0265-27-2208 Fax 0265-27-4657
- 事業所内保育所 川路おむすび保育園
〒399-2431 飯田市川路3467-2
Tel 0265-49-3067 Fax 0265-49-3068

- かわじデイサービスセンター
〒399-2431 飯田市川路3467-2
Tel 0265-27-5022 Fax 0265-27-5082
- 障がい者支援センター 七和の里(ふわり)
〒399-2221 飯田市龍江7033-1
Tel&Fax 0265-27-5100
- 障がい者支援センター 七和の里(ゆらり)
〒395-0806 飯田市鼎上山1552-1
Tel&Fax 0265-49-8885
- 飯田市かわじ地域包括支援センター
〒399-2431 飯田市川路3467-2
Tel 0265-27-6052 Fax 0265-27-5023